佳作

地球温暖化と生き物

御成門小学校　大塚　諭

二酸化炭素の増加による地球の温暖化が進むと、海面の上昇によって、海ばつの低い陸地が水没するといわれています。例えば、元々、国土全体の海ばつが低いツバルなどは、国土が全て水没してしまいそうで、危機的状きょうにあります。又、地球温暖化のえいきょうは、海ばつの低い土地以外にも被害を及ぼします。例えば、北極海の氷が溶けると、北極だけに生息している、北極グマの絶めつが心配されています。その他の例として、海水の温度が上がり、サンゴが白化してしまうことなどがあげられます。だから、サンゴを守って育てる活動も、サンゴの生息できる各地で進められています。

植物では、寒い所に生える草木なども、気温が上がってくると、生息できなくなり絶めつしてしまう場合が多いです。しかし、地方の自治体で土地を買い、守れば、少しずつまたはん殖して、復活します。アフリカなどの雨が少なくとても暑い地いきでは、砂ばく化が進み、森林が少なくなってきています。森が少なくなると酸素が増えにくくなるのでとても大きな問題です。そして、二酸化炭素が増えます。

このようなことから、地球温暖化が進むと、様々な生物に悪いえいきょうがあります。だから、二酸化炭素を減らさなくてはなりません。

今まではあまり環境問題に興味がありませんでしたが、学校や地いきの取り組みと行事を通じて関心を持つようになりました。生物の減少が続くなかで一人一人がどのように生活をするかで、環境が大きく変わると思います。世界の人々が集まり自然に対する会議を開くこともとてもいいと思います。日本でも、絶めつしそうな動物がたくさんいるので、気を使わなければなりません。そして今いる生き物、人間もふくんだすべての生物が共に平和に生きていけたらいいなと思っています。絶めつきぐ種の動物がすこしでも多く生きられたらいいです。